

## ▼東北

### イタリアンナイト

庄司 精一（OX）

お店の名前はノッテビアンカ。イタリア語で「白夜」の意味です。仙台市のコロナ感染者発表がゼロだった11月10日の夜、国分町にあるイタリアンのこの店に、旅・グルメ同好会の皆さん15名が集まりました。久しぶりの集いです。スパークリングワイン、ビール、ジュースとそれぞれがグラスを持ち、OXの長老・石田さんの音頭で乾杯をして、会はスタート。「密」は少し気になりましたが、久しぶりの食事会とあつて皆さんのおしゃべりは絶好調。白ワイン、赤ワインとお代わりを頼む声飛び交って、ウエイターさんも大忙しです。

イタリアンお決まりのピザ、マルゲリータが出される頃にはパーティーは最高潮です。近況報告、最近のマイ・ブームと会話が弾み、思わぬ再会を果たしたメンバーもいました。

コロナで旅・グルメ同好会の活動も思うようにはなりません、

様子を見ながら次はバス旅行でもと考えています。



イタリアンナイトを楽しむ会員



コロナ禍以来、久々の同好会

ゴルフ同好会・幹事の自慢

伊藤 征雄(TBC)

私がゴルフ同好会の幹事を引き受けてから18年。春と秋の年2回、懇親会を開催。昨春秋で34回目。2回少ないのは「東日本大震災」と「コロナの感染拡大」で中止したため。

幹事にとつて一番の気掛りは開催日のお天気。なにぶん1か月以上も前に案内を送送するので、その間じゅう、晴れることを祈り続ける。その願いが通じたか(?) 34回の開催で雨はハーフで1回あっただけ。



お天気に恵まれた懇親会

昨年10月5日、松島チサンCCで14名参加の懇親会も当然のことながら晴れ。それも10月とも思えぬ暖かさ。半袖でプレーする人や終了後の表彰式で「かき氷」に舌鼓を打つ人も。ただ、天気とプレーが一致した人ばかりでないのは毎度の事。

「天気良ければすべてよし」  
天気自慢の幹事はもう、今季の懇親会に気を馳せている。

「社会活動部会」だより

長瀬 文則(MMT)

新型コロナ・ウイルス感染拡大に伴い、3密回避が必須となり、活動がかなり制約されました。

そんな状況でしたが、東北民放クラブが発足以来30年余続けてきた視覚障害者のための「録音図書」を作成する機器のメンテナンス作業は、技術出身の会員の手で予定通り実施されました。

また、朗読ボランティアサークルへの朗読指導は、先方から熱心な講師の派遣要請があり、感染対策を十分取ることを条件に月1回のペースで指導を行いました。

新たに加わった活動もありました。コロナ禍のため中断していた「中学生のアナウンス研修会」に代わって、中学2年生対象の「職業講話」に講師を派遣しました。これは生徒の職業観を育む目的で行う学校行事で、放送・販売・製造・旅行・福祉・美容・システムエンジニアなど7業種から講師が参加して、各々の職業について講話を行いました。

「放送」では技術とアナウンサー出身の2名を派遣しました。生徒は希望する講話を2つ選んで受講しました。

事後、学校から送られてきた生徒の感想文を読むと、生徒たちが初めて触れた未知の社会への興味と憧れが随所に垣間見られました。



「放送の仕事としくみ」講師 大江章氏(TBC)



「アナウンサーと報道」講師 鈴木俊光氏(TBC)